

飛鳥資料館秋期特別展「飛鳥遺珍—のこされた至宝たち—」

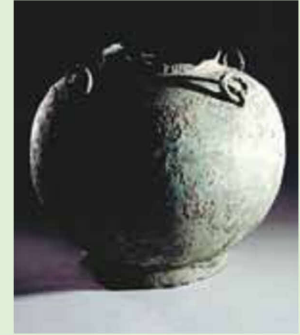
約1400年前に都が置かれた飛鳥は、当時、我が国の政治、文化、経済の中心でした。そして、当時の様子を物語る遺物が眠る飛鳥。そんな飛鳥の地では、戦前から数多くの発掘がおこなわれてきました。当時の発掘によって明日香村から出土した遺物は、各地の博物館や大学で展示されていたり、大事に保管されているものがあります。また、様々な経緯により村を離れた文化財もあります。今年の飛鳥資料館の秋期特別展では、そんな明日香村の至宝達が、里帰りし一堂に会します。ひさしぶりに、飛鳥の地へもどる至宝をご覧になり、ぜひ1400年前の輝きを体感していただきたいと思います。

(飛鳥資料館 成田 聖)

会期：2011年10月14日(金)～11月27日(日)

開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）

お問合せ：☎ 0744-54-3561（飛鳥資料館）



「宮内庁三の丸尚蔵館所蔵
：金銅製四環壺」

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2011年9月